



平成 25 年 7 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント

代 表 者 名 代表取締役社長 富士本 淳

(JASDAQ・コード 6425)

問 合 せ 先 広報・IR 室 部長付 堀内 信之

電 話 03-5530-3055 (代表)

#### 本日の一部報道を受けての当社の見解について

当社グループは、これまで、フィリピン経済に大きな影響を与えるであろう 1 万 5 千人の雇用を産み出す大規模なホテル・カジノ・ショッピングセンターを備えた、統合型リゾート施設の開発に注力してまいりました。

2007 年には、マニラ湾における PAGCOR エンターテインメントシティ参画への招聘を受け、当該プロジェクトに参画するための計画提案を提出いたしました。

当時、我々は、外資企業として、フィリピンの法律及び条例に精通していなかったため、当該プロジェクト開発計画の推進に関して、フィリピンにて最大かつ著名な法律事務所に法的な助言を求めることとなりました。

2008 年当時、上記法律事務所の指導の下、フィリピン法に則って、マニラ湾の土地は取得されました。フィリピン捜査当局 (NBI) の調査に対して、上記法律事務所のマネージングパートナーの弁護士はその土地取引は「正当であり法に遵守したものであった」ことを示しております (7 月 16 日付けフィリピン現地報道より)。

2010 年度に土地問題について、大統領府から Grand Father ルールについての新しい解釈が示されました。

2012 年、我々は OGCC (フィリピン大統領法律顧問室) と協力的に歩んできており、現行の事案については完成までに望ましい形に確保するようにとの見解がなされました。その際にも、当社は望ましい形にすべく解決を図っており、今現在現地企業との交渉も最終段階にきており、土地問題の解決がまもなく図られるところです。

当社グループといたしましては、フィリピンにおいて 1 万 5 千人の雇用を安定的に確保し、海外からの多くの観光客を誘致できる統合型リゾートをフィリピンの方々と共同して作り上げる『夢』を育てる計画を引き続き継続して参る所存です。

以上